

## 外国語科 学習指導案

単元名 : Unit 4 Be Prepared and Work Together (NEW HORIZON English Course3)

～外国の人に避難方法について説明しよう～

本単元で育成を目指す資質・能力【知識・技能】【思考力・判断力・表現力】【主体的に学習に取り組む態度】

指導者 呉市立川尻中学校 下岡 瑞希

日時 令和5年10月3日(火)  
場所 呉市立川尻中学校 3年B組教室  
学年 3年B組(男子10名 女子14名 計24名)

### 単元について

#### ○単元観

中学校学習指導要領(平成29年度告示)解説外国編において、「話すこと(発表)」「(イ)日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。」と示されている。

本単元の内容は、生徒が生活している地域の一部の外国籍住民が災害時に避難できていないという状況を知り、誰もが安心・安全に避難できるような情報を紹介する防災ガイドを作るという活動を扱っている。災害が多い現代において共に助け合いながら生活できるよう、総合的な学習の時間で学んだ内容に関連性を持たせながら、論理的な文章で伝えることをねらいとする。学習内容は、間接疑問文の用法や名詞を修飾する現在分詞・過去分詞の用法、災害に関する語彙である。また、情報や自分の考えを受け手に分かりやすいように詳しく伝える工夫について学ぶ。外国語学習の目標は、言語や文化の多様性を認め、多文化が共生できる社会を創ることである。これらの学習を通して、生徒は受け手の文化的背景や立場について理解することを通して、情報や自分の伝えたいことを伝えることができるようになるであろう。また、教科横断的学習を通して、主体的な学びを促し、それぞれの学習で得た知識や技能を多様な場面で活用する力をつけることができると考える。

#### ○生徒観

本学級の生徒は、これまでに川尻についての紹介など、自分の地域に関わる活動を行った。また、絶滅危惧種を助けるために自分達にできることを考え発表する活動など、社会的な事柄についての事実や情報を英語で説明したり、英語を使って自分の考えなどを、社会的な事柄についての自分の考えを伝えたり、文章を書いたりする活動を行ってきた。これらの活動を通して、ある事柄についての事実や情報を英語で説明したり、英語を使って自分の考えなどを表現したりすることが、以前よりもできるようになった。その一方で、まとまりのある文章を書く際に、“I like summer. I like swimming. I often swim in the pool with my friends. I don't like cold day.”のように情報を羅列するだけで内容に関連性がなく、まとまりのない文章が多く生徒の記述に見られた。このことから、本学級の生徒は、情報をもとに英語で表現する方法を知っているが、必要な情報を取捨選択したり、内容に関連性を持たせて記述したりなどライティングにおける文脈を意識し、その文章を読み手や聞き手に配慮して表現する力が十分についていないことがわかった。そこで、関連した内容のつながりを持った、文章を書くことに慣れ、相手の立場や気持ちなどの状況に応じて書く場面を設定し、より伝わる文章にするために表現の仕方や内容を書き換える活動を設定する必要があると考える。

アンケート結果(9月実施)からわかるように、海外とつながる授業をして、英語への意欲が湧いた生徒は80%いる。しかし、意欲はあるが、英語の5領域の中でも、「話すこと」特に「話すこと(発表)」が他の領域よりも格段に興味が高く、苦手意識を持っている。

アンケート項目 (本年9月実施)	本学年 (肯定的評価の割合)
1. 英語の授業が好きである。	71%
2. 英語の授業の中で「聞くこと」の活動が好きである	71%
3. 英語の授業の中で「読むこと」の活動が好きである	52%
4. 英語の授業の中で「話すこと(やり取り)」の活動が好きである	52%
5. 英語の授業の中で「話すこと(発表)」の活動が好きである	23%
6. 英語の授業の中で「書くこと」の活動が好きである	52%
7. 海外とつながる授業をして少しでも英語への意欲が湧いた	80%
8. 海外に興味がある	67%

本学年の生徒は、2年次に海外と3回オンラインでやり取りする活動を行った。その際、自発的に答える生徒が少なかった。今回の授業では、自発的に会話ができるように、英語を話すというところで、自信を持たせながら指導していく。書く活動から、話す活動につなげていきたい。

## ○指導観

指導に当たっては、次の2点に留意する。

### 【探究的な学びにつながる地域の人・もの・ことの活用】

探究的な活動を支える土台として、課題意識をもたせることや、探究的な見方・考え方を働かせることを重視し、地域の人・もの・ことを活用していく。

単元の導入では、防災についての意識をさせるために、自分の地域ではどのように避難するか考えさせる。1学期に総合の時間で行った自分の家からの避難経路について、どのように外国人に伝えるとよいか、文を考え、英語で外国人に紹介できるようにする。

また、最後の実践的な活動として、海外とつなぎ、避難の仕方について説明した後、海外の避難の仕方も聞きながら、異文化を学ぶことを通じ、英語で表現することへの興味を湧かせる工夫をしながら、指導していく。

### 【生徒が自ら問いを見出すためのしかけ】

単元を通して、本質的な問い「どうすれば、海外の人に分かりやすく自分の考えを伝えることができるか」に係って、生徒が自ら問いを見出すことができるよう、「海外の人に避難経路について、具体的に分かりやすく伝えるガイドを作成し、どのように説明できるか」を問いかけながら、班での活動などを取り入れて単元構成を工夫する。

単元の導入で、ホームステイでお世話になった Jas から、日本に初めて来るために、「災害が起こった時の避難方法について困っている」というメールが届いた場面設定から始める。海外の人にどのように自分たちの避難経路について、英語で具体的に分かりやすく説明することができるか、個人で考える時間をとる。また各 Scene ごとの場面を理解しながら、新しい文法も使用し、ガイド文を作成していく。

第2次では、Unit4で習得した文法を使用しながら、班での活動を中心に、ガイド文を作成する。その際、海外の人に分かりやすく伝えるためには、どのように英語で表現するとよいのか、また表情や発音の仕方も気を付け、主体的に、協力して考えさせながら指導していく。

単元の終わりには、Zoomを使って、海外とつなぎ、自分の町について紹介し、自然被害が起きると、どのように避難するのか、英語で紹介することにつなげる。また、海外ではどのように避難するのか英語で議論もしながら、異文化の違いなどにも意識させながら、指導していきたい。

## 単元の目標及び評価規準

### 【単元の目標】

防災・安全への関心を高め、地域の一員として防災に取り組む意識を持ちながら、間接疑問文や分詞の後置修飾を正しく用いながら、海外の人とやりとりすることができる

### 【評価規準】

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
災害時の行動や情報について、間接疑問文や分詞の後置修飾を正しく用いることができる。	目的やトピックに応じて、分かりやすく伝わるように表現内容や英語表現、伝え方を選択したり、吟味したりして整理し、伝えている。	外国籍住民が安心・安全に避難できるように、災害時の行動や情報について、内容が詳しく、関連性を持たせたまとまりある文章を書こうとしている。

## 指導と評価の計画

(全 13 時間) 本時は 13/13

【単元を貫く課題】避難方法について分かりやすく外国人の人に伝えるには？

〈本質的な問い〉 良いコミュニケーションとは？			
次 (時)	学習内容 【他教科等との関連】	評 価	
		評価規準 (評価方法)	資質・能力
一 (2)	<p><b>課題の設定</b></p> <p>1 単元のゴールである「川尻に住む外国人が安心・安全に避難できるような情報を紹介するガイドを作成する」ために必要な文の構成要素を捉え、目標をつかむ。新文法を習得し、Scene1 の場面を理解する。(2 時間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 間接疑問文の用法を理解している (行動観察、ワークシート、発言)</li> <li>・ どのような話が理解できているか TorF をして、生徒の理解を確認する。またなぜその答えになるのかも理解させる。(行動観察、挙手)</li> </ul>	<p>知識・技能</p> <p>知識・技能</p>
	<p><b>情報収集</b></p> <p>○ 総合で学習した防災に関する情報を個人で思い出す。 【個人思考→集団思考】</p> <p><b>整理分析</b></p> <p>○ 個人思考を通して、外国籍住民が安心・安全に避難できるような防災ガイドには、どのような情報が必要か考えを出し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1 学期に防災について学んだことを前の時間に思い出しておくように伝えておく。</li> <li>・ 班での活動を通して、他の生徒とも話し合うようにする。(行動観察、机間指導)</li> </ul>	<p>思考・判断・表現</p>
	<p><b>新たな課題の設定</b></p> <p>2 Scene2 の導入場面を設定し、新文法を習得する。内容からこの文法はどのようなときに使うのか理解する。(1 時間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 動詞+人+what など始まる節を理解できている。(発表、発言)</li> </ul>	<p>知識・理解</p>

<p>二 (6)</p>	<p><b>情報収集</b></p> <p>3 Mini Activity Do you know what~ を使って自分の好きな有名人や憧れの人物を決め、間接疑問文を使い、対話をする。 (1時間)</p> <p>4 Read and think 1 日本で地震にあった外国人の体験談を聞き、どのように感じたか、意見を書く。 (2時間)</p> <p>5 Read and think 2 外国人支援の取り組みについてどのような取り組みをしているか、聞き取る。 (2時間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Do you know what~を使って、ペアでやりとりができています。 (行動観察、発表)</li> <li>・ 現在分詞の用法について、理解できている。 (行動観察、発表)</li> <li>・ Round の活動を通して、本文の概要を把握する。 (教科書、行動観察、発表)</li> <li>・ Round の活動を通して、本文の概要を把握する。 (教科書、行動観察、発表)</li> </ul>	<p>思考力・判断力・表現力</p> <p>知識・技能</p> <p>思考力・判断力・表現力</p> <p>思考力・判断力・表現力</p>
<p>三 (5)</p>	<p><b>新たな課題の設定</b></p> <p>6 performance test に向けて ○外国人に分かりやすく伝えることができるように個人で考えたことを班で共有する。 (2時間)</p> <p><b>整理分析</b></p> <p>○海外の人に、日本の避難の仕方について、ガイド文をもとに、海外との防災の避難の仕方を英語で伝える。 (2時間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教科書で災害について、学んだことを取り入れながら、文を書くことができる。 (行動観察、ロイロ)</li> <li>・ 海外の人に、避難経路について、分かりやすく説明できるように何が必要か考えさせながら、ガイド文を作成する。 (行動観察、ロイロ)</li> </ul>	<p>思考・判断・表現</p>

	<p><b>Performance test 【本時】</b></p> <p>海外にいる Jas と Zoom でつなぎ、班で Jas と英語でやり取りをする。 また、海外で災害が起こった時の避難の仕方について話し合う。</p>	<p>・海外の Jas とつなぎ、避難方法について、英語で説明し、議論することができる。 (行動観察、ロイロ、やり取り)</p>	<p>思考・判断・表現</p> <p>主体的に学習に取り組む態度</p>
--	--	--	--------------------------------------

## 本時の展開

### 本時の学習

#### (1) 本時の目標

日本の避難経路について、海外にいる人に分かりやすく説明することができる。

#### (2) 本時の評価規準

海外の人に、分かりやすく避難経路について伝えることができる。

【思考力・判断力・表現力③】

#### (3) 学習の展開 (第13時 / 全13時間)

分	学習活動	指導上の留意点	資質・能力の評価 【観点】 (評価方法)
1	1 Greeting (1分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>全員が大きな声が出ているか、全員を見わたしながら、3クスエクションを問う。</li> <li>Warm-upとして声が出ているか確認する。</li> </ul>	
3	3 1minutes talk(3分) 【課題発見】	<ul style="list-style-type: none"> <li>Topicを与えて、それについて動き回り、いつもならないペアとやりとりをする。</li> </ul>	
Today's goal:日本の避難方法について、海外にいる人に分かりやすく説明することができる			
5	4 Practice for Presentation (5分) 【集団解決】	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループでどのように話すと伝わるか、現を考えながら、練習していく。</li> </ul>	海外の人に分かりやすく災害時の日本の避難経路について、説明することができる。 【思考・判断・表現】
20	5 Interacting with Jas about disaster prevention(20分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>Jasの反応を見ながら、説明を自分たち避難経路について伝えている。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">                     (反応例)                      J: Please tell me your way to prevent disaster.                      S: Yes. My group is....                 </div>	
8	6 Feedback from Jas(8分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>Jasからの評価を聞く。</li> </ul> また、海外ではどのように、災害が起きたら、避難しているか教えてもらう。それについてどのように考えるか、聞き取る。また、分かりやすかったかどうか聞き取る。	
8	7 本時を振り返るとともに、今後の見通しをもつ。(8分) 【まとめ・振り返り】	<ul style="list-style-type: none"> <li>今回の海外にいる人とやり取りをして、「できたこと」「反省点、それに対してどのようにこれから、取り組んでいくか」</li> </ul> ロイロに記入→発表 (英語で)	2年次よりも英語で自信を持ち、話すことができた。ロイロで振り返りをして、後日評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">                     【評価基準】                      海外の人に分かりやすく、伝えるためにはどのような単語を使えばよいか、言い回しや文の構成を知ることができた。【B評価】                 </div>	

